

主体的・対話的で
深い学び

学びの改革 334プロジェクト

探究型学習 研究大会

2017.10.21^土 - 22^日

東北芸術工科大学

対象 中学・高等学校教員、教育・NPO・自治体関係者

定員 120名 **無料/事前申込制** ※定員になり次第締め切らせていただきます

主催/東北芸術工科大学 創造性開発研究センター 後援/山形県教育委員会、山形市教育委員会

東北芸術工科大学では、新学習指導要領の導入に合わせ、高大接続改革、探究型学習に関する全国大会「学びの改革 334 プロジェクト 探究型学習研究大会」を開催する運びとなりました。

現在、中学校・高等学校の教育現場では、平成 28 年 3 月に文部科学省の高大接続システム改革会議が公表した「最終報告」における子どもたちが身に付けるべき 3 つの要素に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の導入が加速しています。この中、「特定の分野に絞らず、広く社会の中から課題を発見するための指導方法」に戸惑う教育現場からの声が増えています。

本研究大会は、全国の教員・NPO・行政職員らが垣根を越えて一堂に会し、定期的にそれぞれが抱える現状と課題を共有するとともに、上記を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」における「気づき」「解決方法」のみならず、これらの新しい学びの「本質」を考える機会とします。

「新しい学び」が育てる
“AIに代えられない人間”とは

同時開催

「デザセン 2017 決勝大会」 <http://www.tuad.ac.jp/dezasen>

2017.10.22^日 12:30 - 17:00 (開場 12:00) ※途中入退場可

東北芸術工科大学 本館 201 講義室 **どなたでも観戦可/申込不要/無料**

今年で 24 回目を迎える全国高等学校デザイン選手権大会 (通称:デザセン) は、社会や暮らしのなかから課題を発見し、その解決策を分かりやすくまとめ表現する高校生のデザインの全国大会です。本大会では、応募のあった 1113 チームから、一次・二次審査を突破した 10 チームが、自らのアイデアを、映像や模型を用いてプレゼンテーションし、優勝 (文部科学大臣賞) 以下を決定します。探究型学習によって「何ができるようになったか」、それぞれの学びの成果をぜひ観戦ください。

※学びの改革 334 プロジェクトとは

東北芸術工科大学が主宰する中高大連携型プロジェクトです。時代によって変化していく教育のあり方について、三者協働により課題共有と解決を目指す研究会を毎年開催しています。



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN



文部科学省私立大学戦略的
研究基盤形成支援事業

『生きる力を育む芸術・
デザイン思考による
創造性開発拠点の形成』

学びの改革334プロジェクト 探究型学習研究大会

日時：2017.10.21(土) 12:30 - 18:00 (交流会 19:00-) / 10.22(日) 10:00 - 11:15 (デザセン観戦 12:30-)

会場：東北芸術工科大学 本館 407 講義室 定員：120名 (事前申込制 / 参加無料 / 交流会のみ会員制)

プログラム

[1日目]

- 11:30 開場
- 12:30 開会挨拶
- 12:40 特別講演「AI時代における社会に求められる人材の育成～高校教育の視点から～」
文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室 室長 白井 俊
- 13:55 基調講演「“主体的・対話的で深い学び”って何？生きた学びが生み出す真の価値」
認定NPO法人カタリバ 代表理事 今村 久美
- 14:45 連続講義①「東桜学館 未来創造プロジェクト」事例発表
山形県立東桜学館中学校・高等学校 校長 官 宏
山形県教育庁高校教育課高校改革推進室 室長補佐 伊藤 久敏
山形県立東桜学館中学校 教諭 安達 納
東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科教授 柚木 泰彦
- 15:30 連続講義②「デザセン優勝・準優勝校」トークセッション
香川県立高松東高等学校 教諭 西澤 智子
2016年大会優勝「センカツ」指導教諭 ※高松工芸高等学校
神戸市立科学技術高等学校 教諭 水野 里奈
2016年大会準優勝「味来缶」指導教諭
進行＝東北芸術工科大学基盤教育研究センター 准教授 吉田 卓哉
- 16:40 グループ別事例発表意見交換
グループ1 / 総合的な学習の時間を活用した探究型学習の実践事例
発表者 山形県立新庄北高等学校 教頭 山宮 守
グループ2 / 地域と連携した探究型学習の実践事例
発表者 山形県立東桜学館中学校 教諭 木村 聡子
グループ3 / 職業教育を視点とした探究型学習の実践事例
発表者 埼玉県立新座総合技術高等学校 教諭 青木 邦真
グループ4 / デザセンを活用した探究型学習の実践事例
発表者 山形県立山形西高等学校 教諭 武田 秀幸
- 19:00 情報交換会・交流会 山形国際ホテル(会費:2,000円/事前申込制)

[2日目]

- 9:00 開場
- 10:00 特別講演「学校と地域がつくる学びのしくみとキャリア教育への繋がり」
静岡県教育委員会高校教育課 教育主幹 眺野 大輔
- 11:00 閉会式
- 12:30 第24回 全国高等学校デザイン選手権決勝大会(自由観戦)

申込み方法 <http://www.tuad.ac.jp/334project>

申込フォームより必要事項を記入の上お申し込みください。

申込み切：2017年10月16日(月)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※いずれか1日の参加も可能です



アクセス

JR山形駅 東口バスプール 5番乗り場から「東北芸術工科大学前ゆき」約20分

※土日はバスの本数が少なくなります。

東北芸術工科大学 〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5

TEL: 023-627-2218 FAX: 023-627-2081 E-mail: y-gakusha@aga.tuad.ac.jp

お問合せ：地域連携推進課(担当：伊藤迪子、樋口雅子) 受付：平日9:00 - 17:00

講師プロフィール



白井 俊 / 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室 室長 / 東京大学法学部卒 Columbia Law School 修士課程修了 / 平成12年旧文部省入省 / 平成19年生涯学習政策局政策課専門調査官 / 平成21年徳島県教育委員会(学校政策課長、教職員課長、教育総務課長) / 平成24年高等教育局大学振興課課長補佐 / 平成27年Analyst, Organisation for Economic Cooperation and Development(OECD) / 平成29年初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長(現職)



今村 久美 / 認定NPO法人カタリバ代表理事 / 1979年生まれ。慶應義塾大学卒。2001年にNPOカタリバを設立し、高校生のためのキャリア学習プログラム「カタリ場」を開始。2011年の東日本大震災以降は被災した子どもたちに学びの場と居場所を提供する「コロバ・スクール」を運営するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組む。「ナナメの関係」と「本音の対話」を軸に、思春期世代の「学びの意欲」を引き出し、大学生など若者の参画機会の創出に力を入れる。ハタチ基金 代表理事。2015年より文部科学省中央教育審議会 教育課程企画特別部会委員。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員会委員。



眺野 大輔 / 静岡県教育委員会高校教育課教育主幹(前富士市教育委員会富士市立高等学校教育推進室指導主事) / 静岡県立高校の教員として、平成7年度に採用され、特別支援学校と高校で14年間数学教員として勤務。その後、平成21年度より富士市教育委員会の指導主事として、富士市立高校の探究学習・地域連携・キャリア教育を柱とした学校改革に携わり、地域課題解決学習やキャリア教育のプログラムを富士市役所や地域の企業・団体等と協働で開発。その後も、学校と地域をつなぐコーディネータとしてカリキュラムの充実に努めた。平成28年度より現職。

マップ

